



啓北だより

旭川市立
啓北中学校
令和6年度
学校だより④
7月23日 発行

★一歩前へ ～夢への挑戦 やろう・やる・やった～

「一流」の啓北生が「普通」の啓北中を創る

校長 東藤 義文

新入生82名を迎えて「一歩前へ～夢への挑戦 やろう・やる・やった～」をテーマに掲げ、学習に生活に諸活動に打ち込んだ75日間の1学期。何事にも「やろう」という意欲をもって、自分を一歩前に進める努力はできたでしょうか。

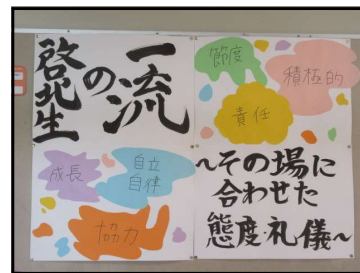
今学期のいくつかの印象深い場面を振り返ります。3年生の修学旅行。天気にはあまり恵まれませんが、私の教員生活を振り返って、こんなにも全員が前向きで健康でよく食べて、仲間とのトラブルがない旅行はそうありません。1年生から見てきた先生方が、その成長に手応えを感じた4日間でした。



今年大きく様変わりした体育祭。肌寒い中の競技でしたが、生徒は熱く燃えました。新しい挑戦である縦割りのチーム編成による競い合い。一人一人が力を尽くした激走激闘に引き込まれ、円陣や感動的な演出から生まれた学年を越える絆の深まりに充実感を味わいました。

日々の授業。学校には多くの来客がありますが、一様に落ち着いた学びの環境と誠実な取組に感心していかれます。この、ごくありふれた「普通さ」。これこそが啓北中の強みです。

「一流の啓北生」…毛筆の逞しい筆致で書かれた2年生の掲示物に目を引かれました。宿泊研修に向けた心構えでしょうか。そして、「一流」の条件を、「その場に合わせた態度・礼儀」と押さえたのでしょうか。状況に応じた人との関わり方やマナー、授業と休み時間、行事や部活動などでのONとOFF…これも「普通」の啓北中を支える大切な力です。これからも全校で「一流」を目指したいものです。



最後になります。今学期のいじめ認知は20件程でした。その多くは「嫌なことを言われた」です。考えの異なる多くの生徒が一つの場所で生活する学校ですから、何一つストレスがない生活を送ることは難しいです。時には感情をコントロールして譲り合い調整しながら、自分と相手の良さや個性を大切に成長し合うのが中学生です。相手の受け止め方を想像し、「その一言」の言い方や伝え方を考えたいものです。

また、SNSによるトラブルもいくつかありました。いずれも大きな問題にまでは至りませんが、道内や市内を見ても生徒指導上の重大な課題になっています。とりわけ画像の拡散、特に性的な内容のものについては他の機関が介入せざるを得ない事例もあります。気をつける、ではなく、「求めない」「送らない」を必ず実行してください。

命を守る、安全な生活を送る、このことを第一としながら、今年から長くなった33日間の夏休み、計画的に充実した生活を送ることを期待しています。

地域と共に【グリーンコンサート】

7月7日(日)に、本校の「吹奏楽部」と「ボランティア部」が地域行事(グリーンコンサート)に参加し、地域の皆様方に、日頃の部活動の成果を発表することができました。このような機会を設定していただき、ありがとうございました。

ボランティア部は、今年度が最後の活動になります。2名の生徒は緊張の中、素晴らしい演技を披露することができました。

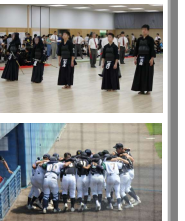


最後まで全力投球した【上川代表決定戦】



7月5日(金)・6日(土)に、「男女ソフトテニス部」「野球部」「剣道部」の3つの部が上川代表決定戦に出場しました。どの種目も旭川市の代表として、ベストを尽くすことができました。残念ながら全道大会の出場のキップを手にすることはできませんでしたが、これまで頑張ってきたことを十分に発揮することができました。

本校からは中体連全道大会に、陸上の「男子100M(SRさん【3年】)」男子200M(MKさん【3年】)」「男子400Mリレー(SRさん・MKさん【3年】)」、水泳で標準記録突破により、「HNさん【1年】」が「200M自由形」「400M自由形」出場します。活躍を期待しています。



《男子ソフトテニス部》

◇個人戦「TR・TSさんペア」【1回戦敗退】

《女子ソフトテニス部》

◇個人戦「WR・TMさんペア」【1回戦勝利】
【2回戦敗退】

《剣道部》

◇男女個人の部 【予選敗退】

◇男子団体戦【予選2位通過】

【決勝トーナメント1回戦敗退】

◇女子団体戦『第3位』

《野球部》

◇1回戦 ○啓北・六合 2-1 東川

◇準決勝 ●啓北・六合 3-6 士別・朝日・上士別
『第3位』

思い出いっぱい【宿泊研修】

7月12日(金)～13日(土)、札幌・小樽方面において、宿泊研修を行いました。1日目は、「札幌市青少年科学館の見学・体験」「専門学校研修」、2日目は「札幌自主研修」を実施しました。スローガンである「一流の啓北生～その場に合わせた態度・礼儀～」の達成に向け、一人一人が生き生きと活動し、集団としてのまとまりがあり、先を見通した行動ができていました。

この宿泊研修を通して、学級・学年の輪が一段と深まり、思い出いっぱいの2日間になりました。



全道3位おめでとう【野球部】



野球部が、旭川市・中央地区代表として、「全日本少年軟式野球大会 北海道大会(中標津)」に出場し、あと1勝で全国のカップというところまで勝ち上がり、見事に3位入賞を果たしました。

暑さ指数【熱中症対策】

熱中症対策として、各活動場所で熱中症計による「暑さ指数」を測定しています。この夏休みも基準をもとに部活動の内容や時間を考慮して、活動を進めていきます。



決定しました【新しい制服】

令和7年度から、本校の制服が新しくモデルチェンジされますので、お知らせいたします。右のようなブレザーに変更になります。事前のアンケートなどのご協力ありがとうございました。



有効活用を【端末持ち帰り】

先日の参観日に、お知らせしましたように、夏休み期間、全校生徒が端末を持ち帰ります。オンラインで「夏休みの計画表」に取り組むのはじめ、教科によっては課題の配付を端末で行うこともあります。

端末の使用方法や管理につきましては、参観日の資料でご確認ください。くれぐれも、紛失や破損することのないように、大事に扱ってください。

心配なことや悩み【相談窓口】

これから夏休みに入ります。子どもたちが様々な悩みや困難を一人で抱えることのないよう、学校はもとより、関係機関による相談支援を受ける体制ができています。

本日、主な相談窓口(中学生)の紹介文書を配付しておりますので、ご覧ください。

★旭川市子ども総合相談センター

【代表 ～ 0166-26-5500】

【子どもホットライン ～ 0120-528506】